

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立中筋小学校		
学校長氏名	梅木 英生	栄養教諭氏名	小原 恵子
職員数	45名	児童・生徒数	746名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は、嫌いなものでも頑張って食べようとする児童が多く、昨年度好き嫌いをせずに残さず給食を食べようとしている児童は約8割いたが、低学年になるほど好き嫌いのある児童が多くみられる。給食の残食は、広島市の平均より主食(+0.5%)、副食(+0.4%)ともやや多めになっている。

家庭との連携については、規則正しい生活リズムづくりの働きかけを行っているが、アンケート調査では、朝ごはんを食べる、ほぼ食べると回答した児童は95.2%で平成26年度と比べて2.2%低くなっており、その中で野菜を食べる児童の割合は、62.6%である。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

給食の平均残食率の目標値を昨年度より低く設定し、主食 2.1%以下、副食 1.6%以下とし、全体の成果指標とは、広島市の平均以下とする。

朝ごはんを食べる、ほとんど食べる児童の目標値を98%以上、朝食に野菜を食べる児童の割合を63%以上とし、成果指標は、今年度の6月調査より数値が上回るものとする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】(テーマ) 残食率の軽減

○給食を食べよう週間（6月食育月間）

全校で行う朝会に「食育」に特化した内容のものを年間計画に位置づけており、「しっかり食べて元気」というビデオを「給食を食べよう週間」の実施前に視聴し、クラスでがんばる作戦を考え、みんなで給食を完食するように一週間取り組む。完食だったクラスに「カラッポシール」残りがあったクラスに「残念シール」を配布する。シールが集まることで児童の食べる意欲を刺激することができた。

○パクパク週間（11月）

「中筋ぼうや」というキャラクターを設定し、「中筋ぼうやのぼうしを赤色にしよう！」で給食がカラッポだと赤い帽子の折り紙、残りがあれば青い帽子の折り紙をクラスに配布する。児童に好評でほとんどのクラスが赤い帽子にすることができた。



○給食週間毎日チャレンジ(1月給食週間)

給食週間の一週間、毎日給食時間に取り組む目標を事前に決め、みんなで意識しながら食事をする。事前に全校朝会で「上手な食べ方をしよう」というビデオを視聴し、食べ方について学級で確認し合い、給食週間には毎日配布された指導資料を参考に毎日取り組んだ。上手な食べ方をみんなで声をかけあい意識しながら、残さず食べることができた。



よくかんで食べて、カラッポにしよう!

6年 3組の作戦

40分までに準備する

カラッポシールをあつめよう!

なんでも食べて元気に大きくなる!

	6/27日(月)	6/28日(火)	6/29日(水)	6/30日(木)	7/1日(金)
2年	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール
3年	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール
4年	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール
5年	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール	カラッポシール

給食週間毎日チャレンジ

しょうずな食べ方をしよう

みんなでチャレンジしてマナー名人になろう!

ふりかえってみよう

毎日の目標	今日の実践	ふりかえってみよう	一週間の反省
23日 残食を減らすために箸をよく使う	みんなががんばった	まあまあがんばれた	まい日、目標を達成できなかった
24日 指導図案について知っているか	みんなががんばった	まあまあがんばれた	いじ食べることをできた
25日 ごはんとおかずを交互に食べる	みんなががんばった	まあまあがんばれた	ました、これからはつづけてい
26日 出し渋いようにしよう	みんなががんばった	まあまあがんばれた	です。
27日 よくかんで食べよう	みんなががんばった	まあまあがんばれた	あま

【取組2】(テーマ) バランスの良い朝ごはんの摂取

○朝ごはんチェック(6月食育月間)

一週間、低学年は朝ごはん野菜と一緒に食べたか、高学年は主食・主菜・副菜のそろった朝ごはんを食べたかどうか家庭でチェックする取組を行った。児童には全校朝会(前述)で「しっかり食べて元気」というビデオで事前に朝ごはんの大切さを知らせ、保護者には食育だよりで朝ごはんチェックの取組とバランスの良い朝ごはんの必要性、忙しい朝に朝ごはんを用意する工夫などについて知らせて取組んだ。ちゃんと朝ごはんを食べることによって体の変化を感じた児童がおり、意識させることがまず大切だという結果を得た。



○朝ごはんチャレンジ(夏休み)

夏休みの課題として5日間朝ごはん作りやお手伝いにチャレンジした。5日間朝ごはん作りをがんばった児童は、「つくってみようよ!自分の朝ごはん」に応募した(36名)。保護者からは、お手伝いや食事作りをする姿から子どもの成長を感じた、ふれ合う機会が持てて良かったなど意見をいただいた。

○保護者への啓発

一年生対象の給食参観、全校対象の給食試食会、食育だより(6月、9月、10月、2月)で朝ごはんの重要性、バランスの良い朝ごはんの必要性、朝ごはんのアンケート結果について知らせた。

【取組3】(テーマ) 食に関する指導

○教科に関連した食に関する指導

食べることに関心を持ち、自分の体を考えた食べ方ができるように特別活動、教科を通じて担任と栄養教諭とでTT授業を行った。特別活動で各学年1時間、教科では各学年1時間以上関わるようにした。



○給食時間における食に関する指導

給食時間に栄養教諭がクラス訪問を行い児童と一緒に給食を食べ、朝ごはん、食べ物と栄養、地場産物・郷土食・食事マナーなどについて指導を行った。年間1クラス5回訪問する。

2年生「野菜を食べよう」
給食の玉ねぎの皮むき体験栄養教諭・給食調理員と一緒に

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○親子料理教室(夏休み)

100万食プロジェクトのメニューの「タコタコライス」「ひろしままんぷく!シャキシャキサラダ」「広島フルーツぷるるんゼリー」を取り入れて親子56名で実施した。好評で、夏休みに家で作った児童もいた。



○教職員食育研修(夏休み)・料理クラブ(11月)

教職員食育研修の給食調理体験及び児童の料理クラブで「広島フルーツぷるるんゼリー」を取り入れて実施した。クラブでは、家でまた作った児童が多くいた。

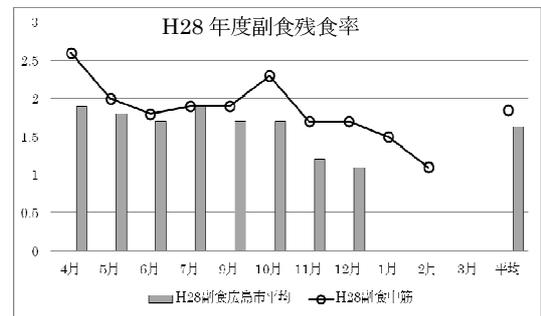
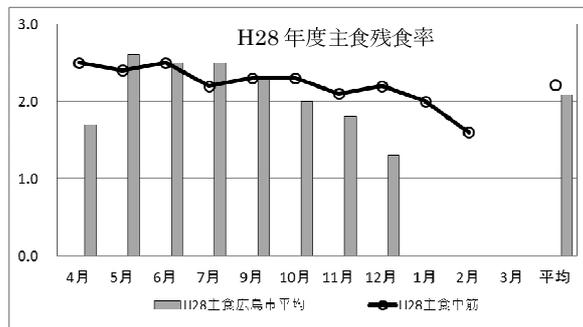
○ひろしま給食ビデオ放送、食育だより特別号の発行及びつくレポ食レポ募集

ひろしま給食実施日に100万食プロジェクトのビデオ放送で児童に周知し、食育だよりで保護者にお知らせやつくレポ食レポの募集を行い、食育だよりで紹介した。

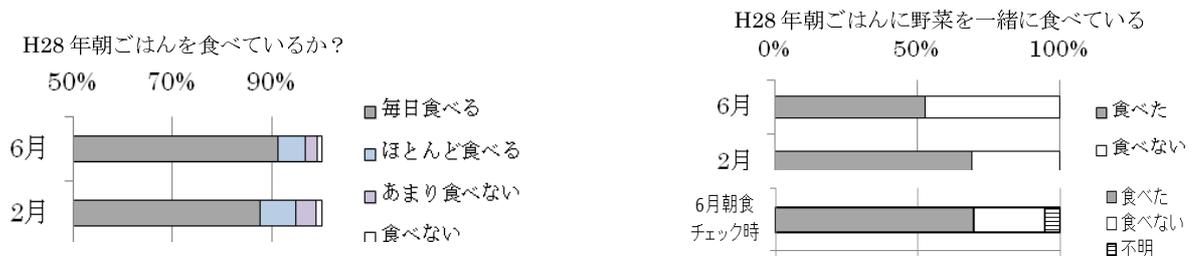


5 取組に対する成果と課題

○残食率の軽減については、2月現在広島市の平均と比べて主食は+0.1%、副食では+0.3%と多くなっている。最初低学年の残食率が目立っていたが、定期的な行事での取組や担任と連携した食に関する指導によって残食は減ってきている。



○朝ごはんの取組では、「朝ごはんを食べる」「ほとんど食べる」児童は、6月(96.8%)と2月(94.2%)を比べると、「食べる」児童が減っている。学年によって差があることが分かった。また、「野菜と一緒に食べる」では、6月(52.7%)と2月(69.4%)を比べると、「食べる」「ほとんど食べる」児童が増えている。6月の朝食チェック週間中は、平均して野菜を食べた児童が70%と上回っていた。



6 今後の取組に向けた改善方策について

○残食を軽減する取組は、毎年新入生も入り担任も変わるので、いろいろな食育の行事や給食指導、教科と関連した食に関する指導等を通じて担任と共通認識のもと続けていく必要がある。

○バランスの良い朝ごはんの摂取の取組では、学年によって差があるので、その実態に応じた指導や家庭への働きかけが必要であると思われる。また、野菜も一緒に食べる働きかけも6月の食育月間だけでなく、一年を通し、後期にも何らかの取組を行う必要がある。